

令和4年度第2回地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所理事会議事録(要旨)

日時 令和4年9月13日(火) 9時00分から9時40分まで

場所 産技総研共通技術研修室(2)

出席者 鈴木理事長(議長)

岸本副理事長

和泉理事(事務)

林 理事(技術)

田子監事(弁護士)

青木監事(公認会計士)

※ 田子監事、青木監事は、電子会議システムを使用してリモートにて参加。

【議題】

1 令和4年度第1四半期財務状況について

- ・事務局から説明を行った。

2 令和4年度神奈川県立産業技術総合研究所評価委員会の概要について

- ・事務局から説明を行った。

質問：設立団体に納付される金額は機械的に算定されたものか。(青木監事)

回答：そのとおりである。納付額は令和3年度の特定運営費交付金の執行残りである。(姫野財務担当部長)

質問：使用しなかった金額は返すということか。(青木監事)

回答：そのとおりである。特定運営費交付金は県の交付金交付要綱に基づき精算し、執行残は県に返還する。(姫野財務担当部長)

上記議題1～2について採決を行い、原案のとおり了承された。

【報告事項】

1 年度計画進捗状況について

- ・事務局から報告を行った。

質問：人材育成の項目で、目標値の変更があったとのことだが、これは集客に力を入れない方向にシフトしたということか。(青木監事)

回答：コロナ禍で制約があるため、第二期は数値を変更させていただいた。(大屋企画部長)

質問：連携交流の項目は現時点でほぼ達成しているが、年間を通じて大幅達成をする見込みなのか。(青木監事)

回答：第一期はオンラインを取り組んでいなかった部分もあるが、目標を達成しても取り組んでいくものであると考えている。過年度との比較も行っていく。(大屋企画部長)

質問：来年以降は目標値の修正はあるのか。(青木監事)

回答：評価委員会では、進捗の良いものは修正していくのではなく、実績の推移を見て判断していくこととしている。(大屋企画部長)

質問：研究開発の項目において、成果普及実績はまとめて評価している意図は何か。(青木監事)

回答：研究における時間的なスケールやサイクルが異なるため、研究サイクルに合わせたポイントでまとめて評価することとした。(大屋企画部長)

質問：前年度と比べ、今回の年度計画の目標値で増やしているものはあるか。(田子監事)

回答：事業化にかかる支援や、技術情報オンライン提供の数値を増やしている。(大屋企画部長)

2 令和4年度施設公開 2022 オンラインについて

- ・事務局から報告を行った。

3 令和4年度かながわサイエンスサマー「夏休みおもしろ科学体験」について

- ・事務局から報告を行った。

4 次世代事業創出デザイン支援事業キックオフセミナーについて

- ・事務局から報告を行った。

以上